

## 平成25年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

|  |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
|--|----------------------|------|--------|----------------|---|---------|----------------------------|------|------|
| 開講方式   | Aタイプ<br>(研究科<br>開講型) | 研究科名 | 教育学研究科 | カテゴリー          | キャリア・マネジメント・研究者倫理科目群                                    | 横断区分    | 文理横断型                      |      |      |
| 授業科目名  | 大学で教えるということ          |      |        | 講義担当者<br>所属・氏名 | 高等教育研究開発推進センター<br>教授 大塚 雄作<br>" 教授 松下 佳代<br>" 准教授 田口 真奈 | 開講場所    | 吉田南1共21                    |      |      |
| 配当学年   | 修士<br>博士後期<br>専門職    | 単位数  | 2単位    | 開講期            | 後期  | 曜時<br>限 | 2月5・6・7日<br>1～5限<br>(集中講義) | 授業形態 | 課題演習 |
| 〔授業の概要・目的〕   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| <p>・将来、大学教員を目指す大学院生にとって、研究者としての力量とともに、教育者としての力量を養うことは、近年とくに重要になってきている。本授業では、参加者同士の議論を中心に、大学で教えるということに関する知識とスキルを身につけることを目的とする。</p> <p>・本授業は、講義を中心とした基礎知識獲得と、参加者が模擬授業と検討会を行う実習を交えて行う。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】<br/>理系・文系を問わず、自らの研究領域を初学者であるところの学生に教えるためには、相応の知識とスキルが必要であるが、本授業で獲得を目指すのは単なるティーチングスキルにとどまらない。大学院生同士が、研究領域あるいは大学という枠を越えて、「大学授業」について議論を行うことで、各自が大学で教えるということに関する広い視野を持つことを目指す。</p> |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔授業計画と内容〕  |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| <p>第1日目 講義（世界の大学教育改革の動向、大学授業をデザインするとは、授業デザインワークシートの作成方法について）</p> <p>第2日目 グループワーク（模擬授業のデザイン）</p> <p>第3日目 模擬授業＋検討会</p>   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔履修要件〕   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 特になし   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔成績評価の方法・基準〕   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 授業中の模擬授業・討論への参加度およびフレクシオン・シートをもって評価する。   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔教科書〕  |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 特になし   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔参考書等〕   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| <p>京都大学高等教育研究開発推進センター 『生成する大学教育学』（ナカニシヤ出版）ISBN:978-4779506451</p> <p>梅田望夫・飯吉 透 『ウェブで学ぶーオープンエデュケーションと知の革命』（ちくま新書）ISBN:978-4480065674</p> <p>池田 輝政・戸田山 和久・近田 政博・中井 俊樹 『成長するティップス先生』（玉川大学出版部）ISBN:978-4472302572</p>  |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| 〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |
| <p>教育に関心がある大学院生だけでなく、将来大学教員という職種を希望している大学院生であれば、所属や専攻を問わず、受講を歓迎する。なお、受講に際して疑問等がある場合は教育学研究科・高等教育開発論講座 田口真奈 (taguchi.mana.3z@kyoto-u.ac.jp) までメールにて問い合わせること。</p>   |                      |      |        |                |   |         |                            |      |      |